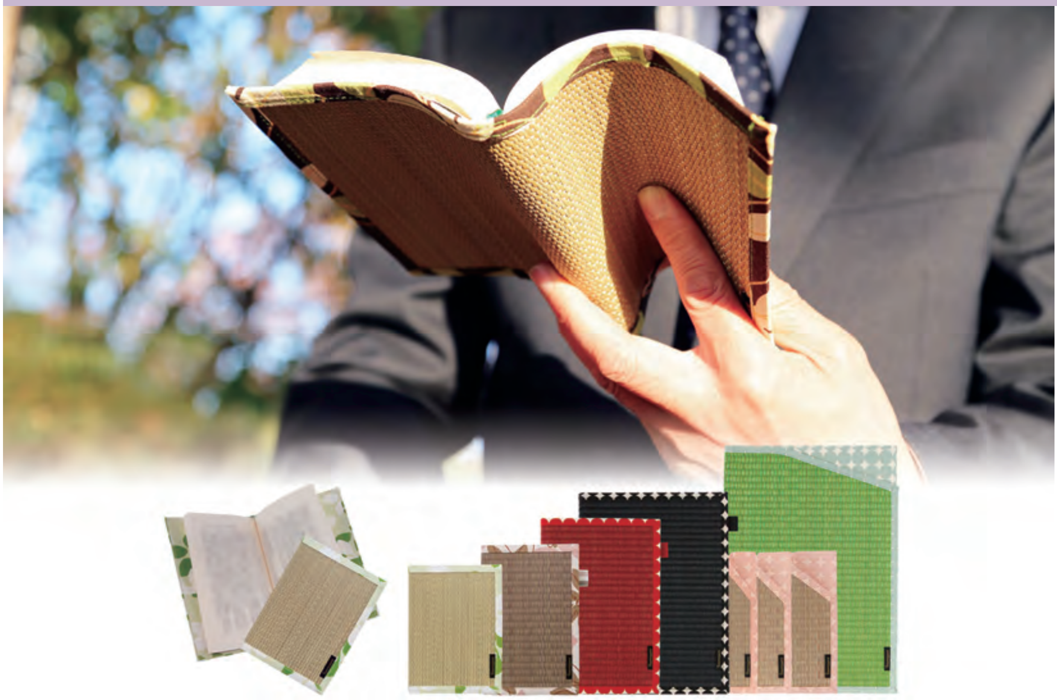
有限会社 シンメ

い草を身近な文具で展開 心地良さをいつも手元に

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応


ブックカバーなど、い草製文具

業務内容

い草の風合い生かし 色と柄布で楽しさ演出

畳表やござなどに使われる、い草の織物を活用したブックカバーやノートカバー、ドキュメントケース、ペンケースなどの文具を製造し、全国の書店や雑貨店、オンラインショップで販売している。植物が持つ本来の風合いを生かし、赤や黒に色づけされた、い草織物と縁から裏面にかけて貼られた柄布（がら）の組み合わせがモダンで目を引く商品だ。眞目（しんめ）祐治社長は「文具として楽しく使ってもらえるように、色と柄の組み合わせにはこだわった」と語る。平成30年夏に市場投入したメガネケースやコースターといった新商品も好評だ。

強み

本の動きに合わせて しなやかさや薄さを追求

平成25年頃からい草織物を使った商品の開発に乗り出し、同29年5月に同社第1号のい草文具商品であるブックカバーを販売。ブックカバーの場合、本を開閉する動きに合わせたある程度の薄さやしなやかさが必要であるとともに、い草織物と縁や裏面の布地が一体性を保って剥がれないという耐久性も求められる。この条件を満たす接着技術や生産方法を確立するのには3年ほどの開発期間を要したという。接着剤の配合や塗布方法の工夫によって、「使えば使うほど手になじんでくるのが特徴」と、眞目社長は出来栄えに胸を張る。

生産体制

企画開発から組立まで 一貫して社内で対応

眞目社長は大手メーカーに勤務後、平成9年に父の経営する同社に入社した。テーブルなどの脚の下に敷いて畳を保護する座卓敷きを手がけたことがきっかけとなり、い草を使用したオリジナル文具の製造を発意。縫製用ミシンを買い揃えるなど、10年ほど前からメーカーとしての体制を整えてきた。

現在では、文具商品の企画開発や縫製、接着、組立などの作業は基本的に社内で行う。京都の染色加工業者の協力を得て、い草織物の表面に家紋やだるまなどの図柄をプリントした商品をラインアップに加えるなど、新たな試みも始めている。い草の色や織り方は無数にあり、今後もさまざまなデザインを増やしていく。

今後の展望

丁寧なものづくり通じて 伝統文化を次世代へ

ブランド名は「amtsumg（アムツムグ）」。眞目社長は、その心を「編むように、紡ぐように、丁寧なものづくりにまい進していく」姿勢を表していると語る。

い草は抗菌作用や湿度調節機能、リラックス効果があり、古くは薬草としても用いられた。しかし、近年は生活様式の変化で畳敷きの和室を設けない住宅が増えるなど、畳離れが進んでいる。それだけに「身近な商品を通じて、い草の香りや触感、心地良さを次世代へと伝えていきたい」という思いは強い。伝統と現代のデザインや加工技術をうまく織り合わせた商品づくりは、世界へ目を向けて広げていく考えだ。

書店での売り場展開の様子

新商品のコースターなど

当社の歴史

大阪 30

昭和58年から資材製造卸業として、花ござなどい草製品の縁に使用するテープなどを扱ってきました。接着方法を確立したことで、い草織物の用途が大きく広がりました。今後は、日本を訪れる外国人観光客向け商品も手がけ、世界に日本の生活文化を発信したいと考えています。

取締役社長 **眞目（しんめ） 祐治**さん

http://www.amtsumg.com/

主な事業内容

ブックカバー、ペンケースなど
い草製文具、雑貨の製造・販売

主な取引先(納入先)

文具問屋、い草製品メーカー、
清掃具メーカー

●住　所	〒569-1029 高槻市 安岡寺町3-19-2
●ＴＥＬ	072-688-2567
●ＦＡＸ	072-688-8818
●創　業	昭和58年 4 月
●設　立	昭和58年10月
●資本金	300万円
●従業員	9名